



ビッチ君は
素直に
なりたい





ズンズン

ん

ん



大体寝る時
ちゃんと布団を
被らないから

しっ…
仕方ねえだろ
熱いんだからっ



今日は
鍋にするか

泊まって
いくだろう？

…水炊き
がいい

ふむ…シメは
雑炊にするか

良いね



春に雪緒と
付き合い始めてから

うん

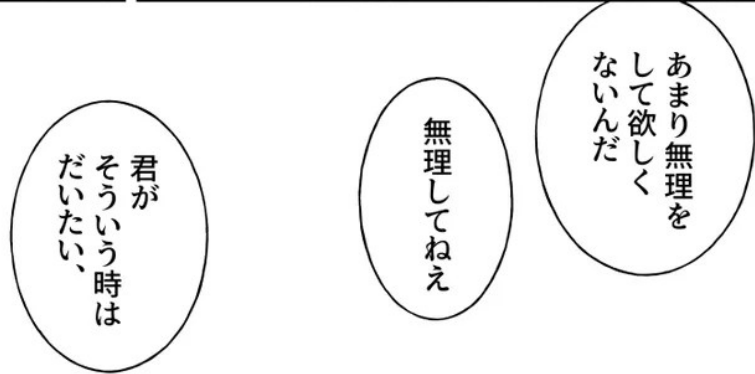


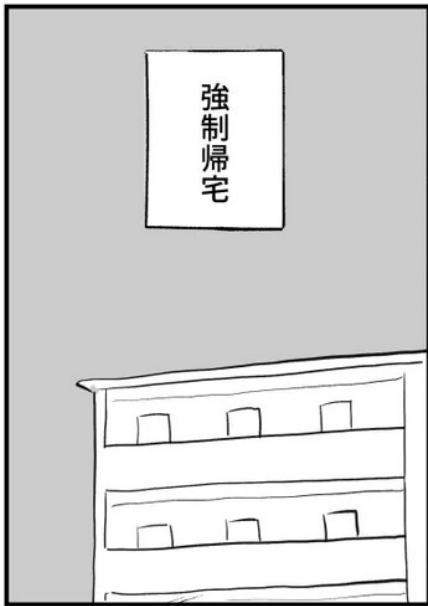
じゃあ帰りに
買い出しに行つて…

本屋にも
寄つて良いか？













なら良かった



蒸し返すのもあれか…?

じゃあ暖かくして寝るんだぞ

えっ

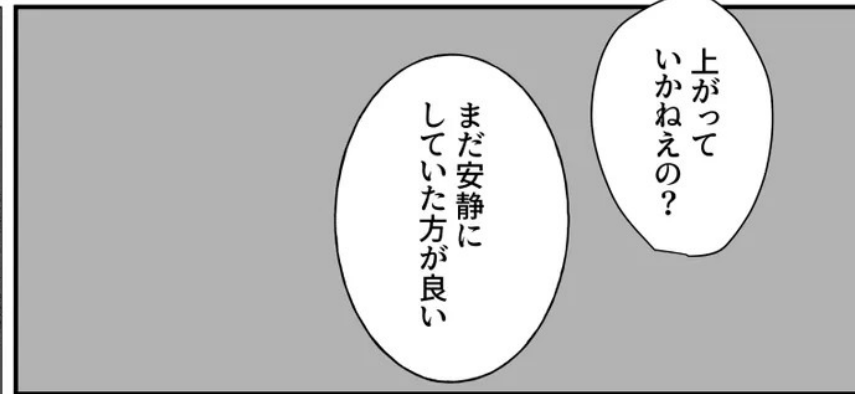


おう…

…思ったより昨日のこと気にしてなさそうだな



…寂しいから一緒に居てくれよ

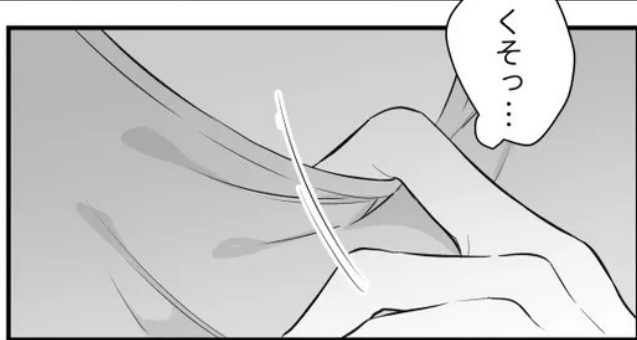


上がっていかねえの？

まだ安静にしていた方が良く



それはそうだけど…





溶けるのが
はやいな

.....
お前が上手
すぎんだよ...



やっぱこいつは
触られるの
たまんねえ...

ぐく



弱いとこ把握
されてるのも
あるけど

すり



俺は良いから
自分のことに
集中しろ



...おれにも
触らせろ



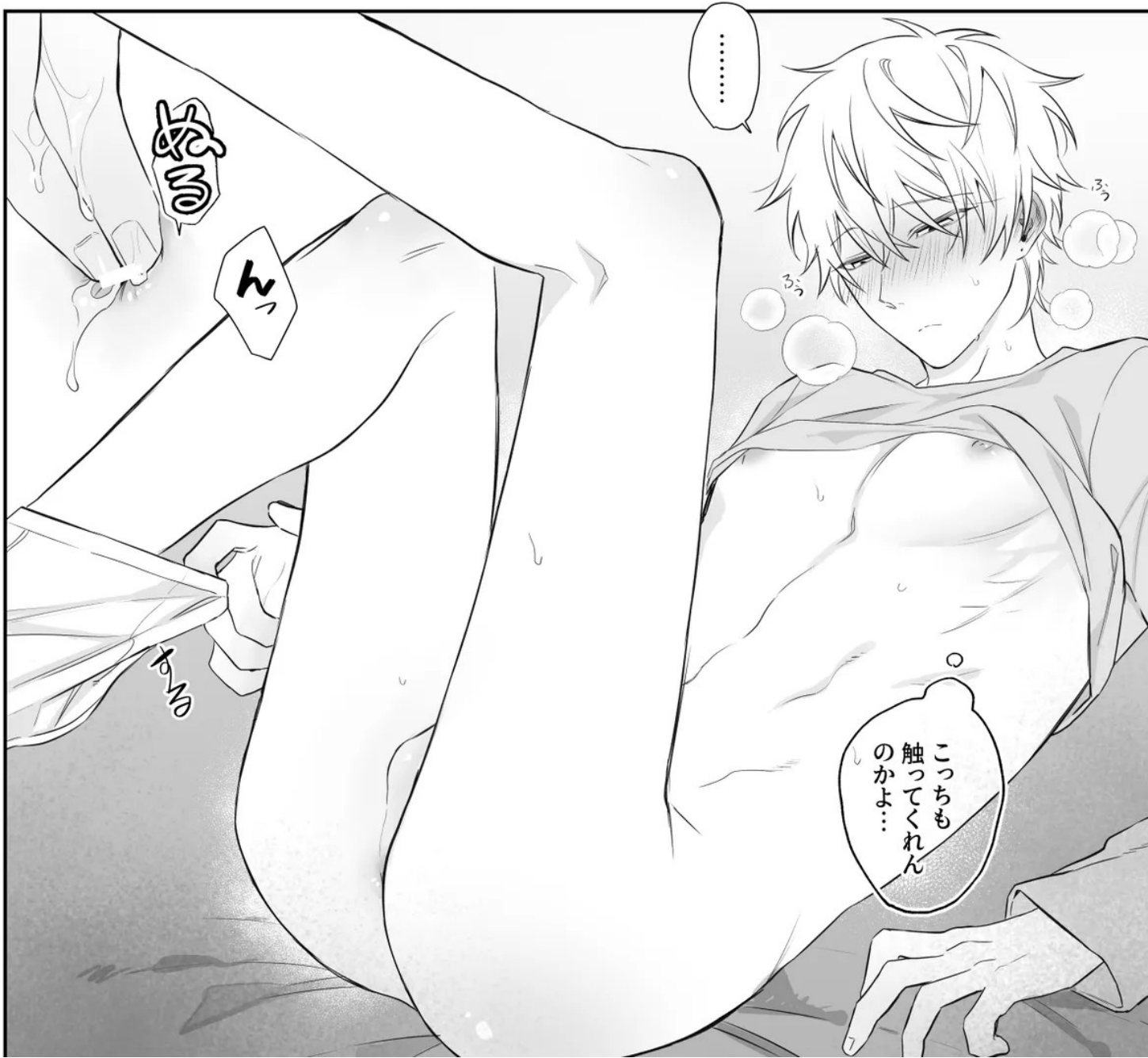
触れってか...

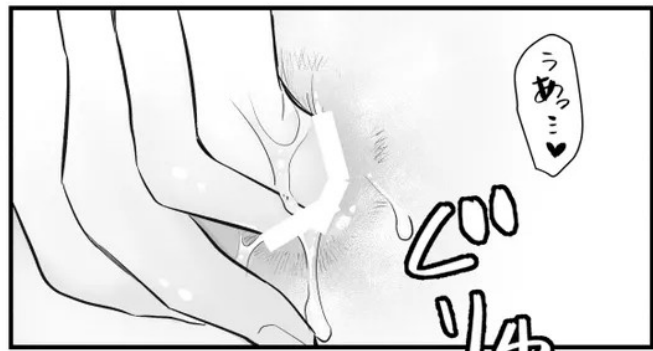
好きだろう？

好きじゃねえっ

ぐぐぐ







うぁっ♡
200
1/4

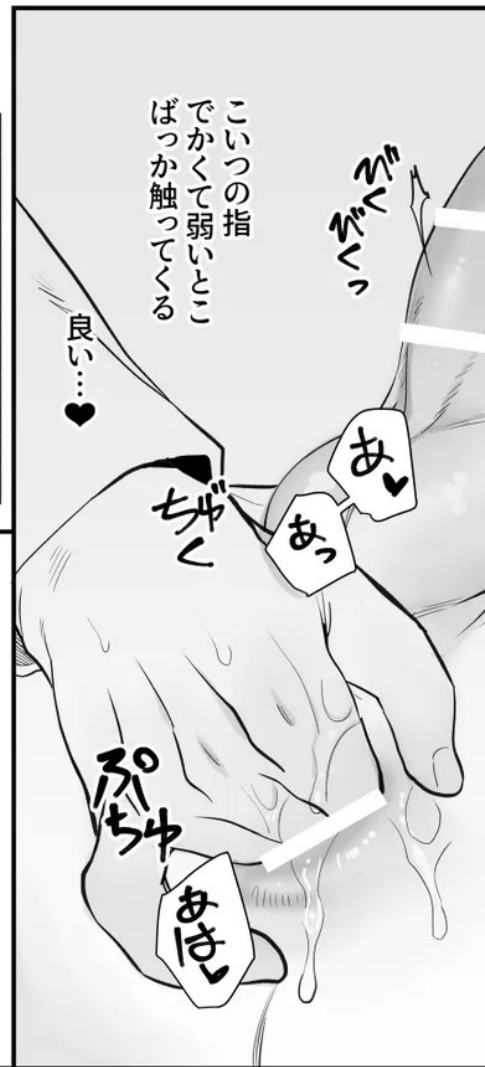


少し脚を
開けるか？

わわかつてる…っ



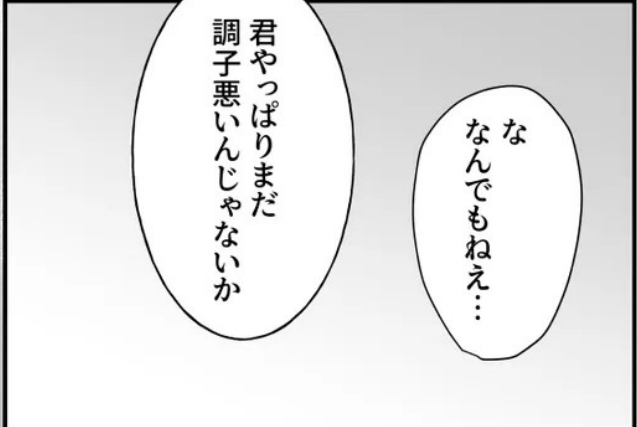
やば
ちよつと
触られただけで
きもちいいっ…♡





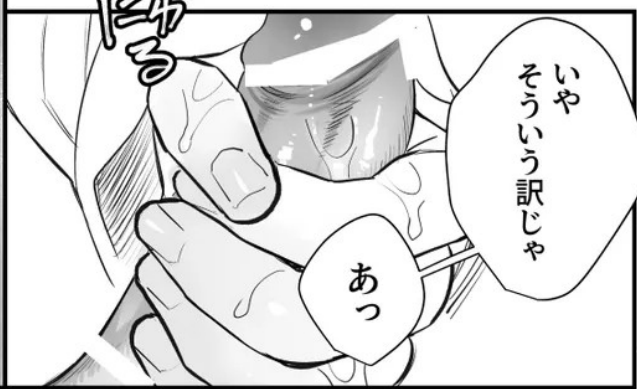
やっ...♥
はやくすんな

ぢやく
ぢやく
ぢやく



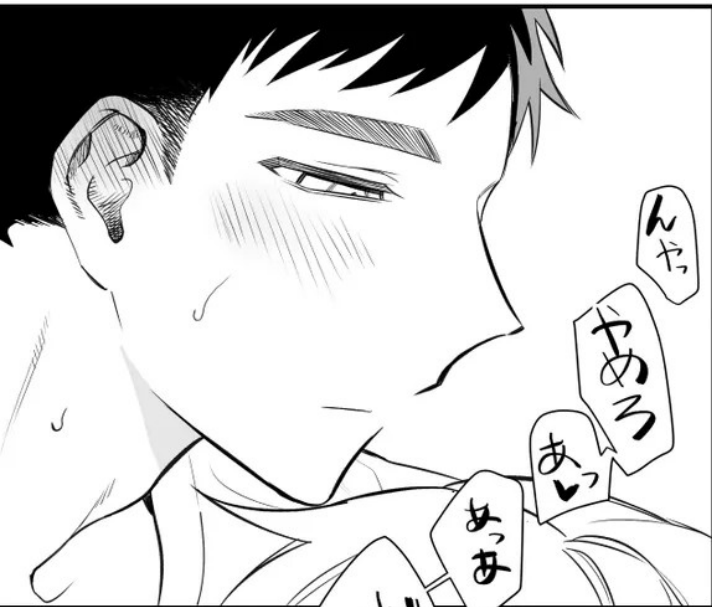
な
なんでもねえ...

君やっぱりまだ
調子悪いんじゃないか



いや
そういう訳じゃ
あっ

ぢやく



んや

あめろ

あっ

あっ

あめろ



あめろ

きゅ



あめろ
あめろ



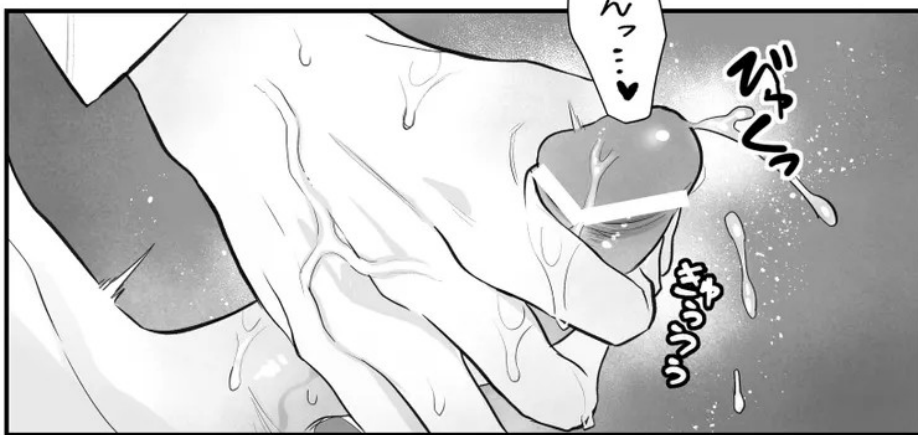
あっ♥
やだって

ぢやく
ぢやく

ゆきおっ

ぢやく

ぢやく
ぢやく

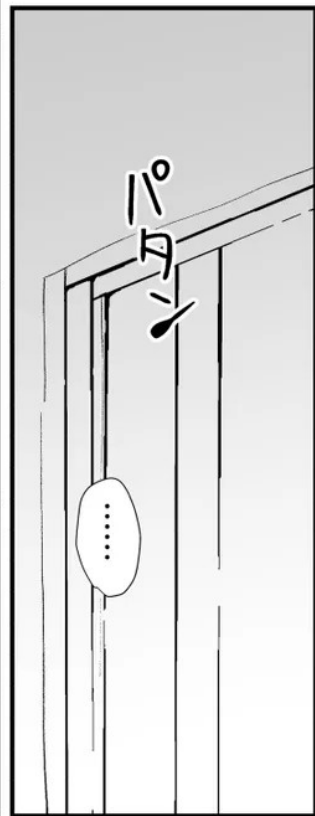






……いつもと
違うっていうか

やっぱりあいつ
ちょっと気に
してたよな



パン

……



「おかしな」

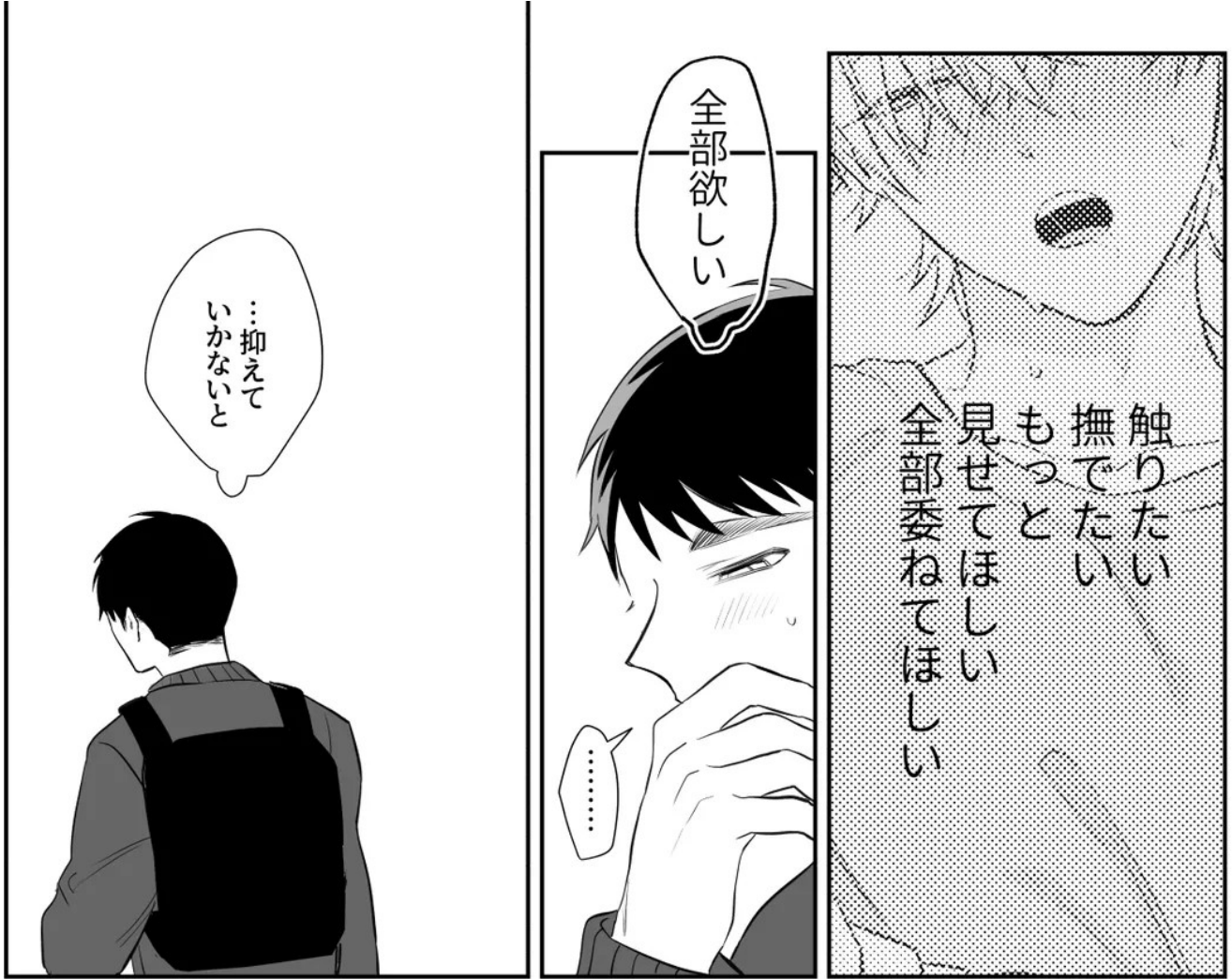


あ
危ない



どんどん無防備な
所を見せてくれる
から困る……

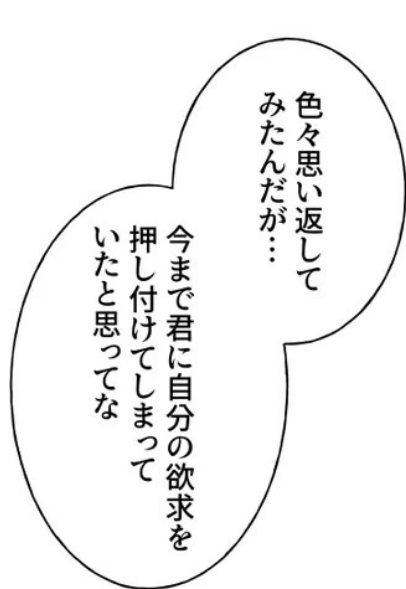
流されるところ
だった……!!



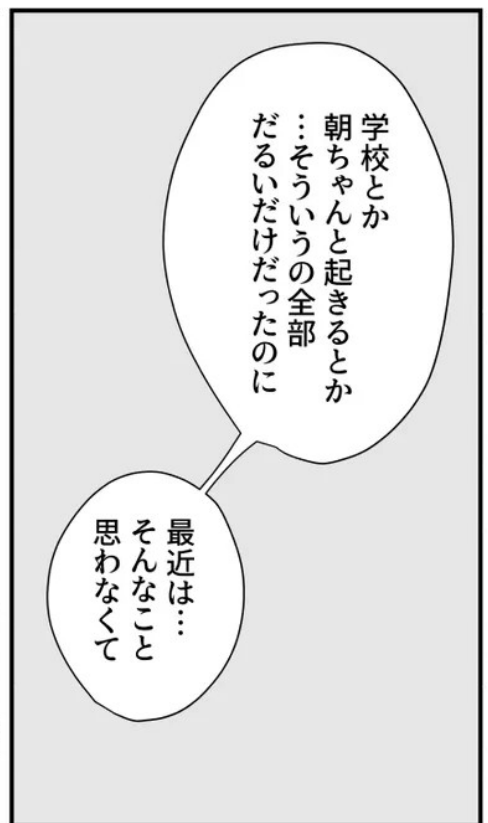
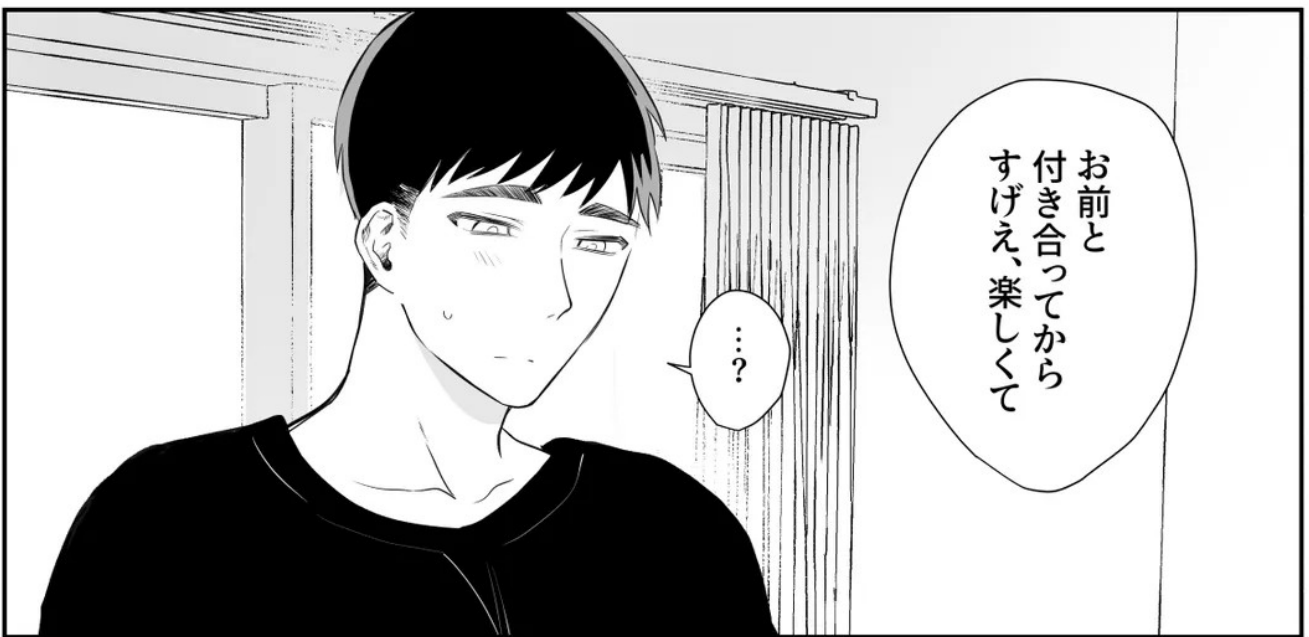
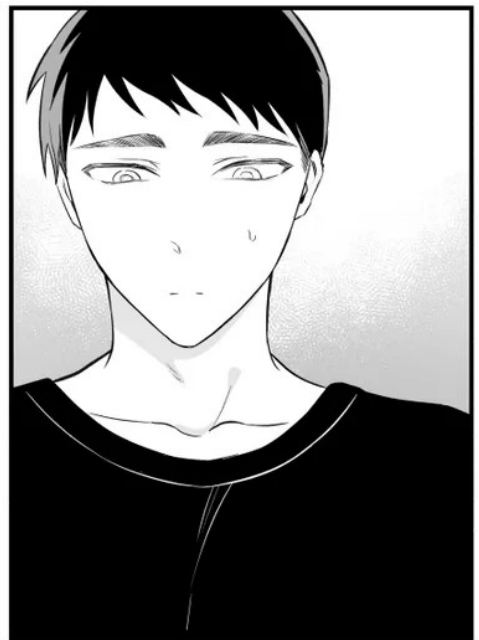
数日後

よお







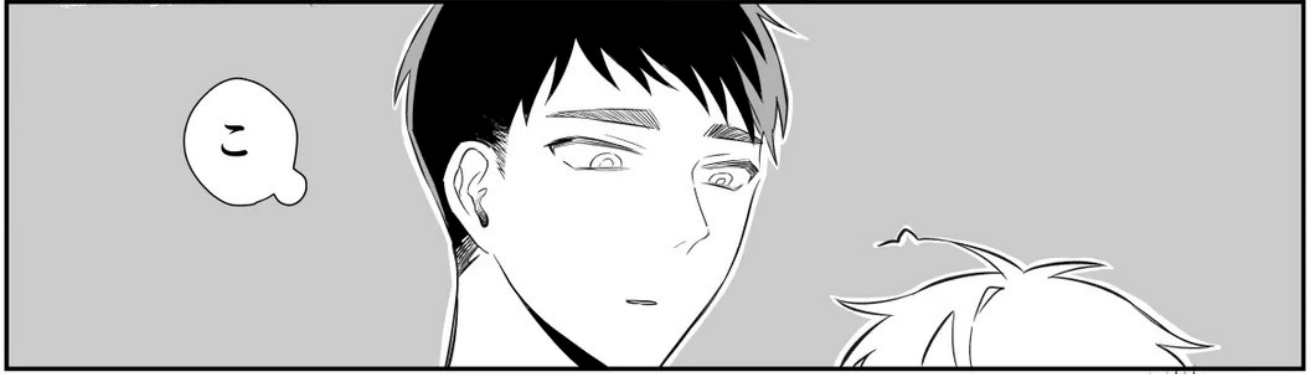




.....

そういうこと
いままで
無かったから

それでお前と
少しでも長く
居たくて、
あの時は...



こ



わ分かったから
あまり無理するな

だからっ

壊れそう
だ...!!

...だから、



おまえのこと

ちゃんと好きだと
思ってるから

そのまま
居ろっ



ああ…
…いや、

……
……なんか
言えよ



うまく言葉が
出ないな…

……



君が…そんな
まっすぐな言葉を
くれるなんて

…嬉しくて



嫌じゃ
ねえから

今好きなのだ
触れよ



どん!

おまえこの間
ちよつと遠慮
してただろ



その聞き方は
ずるいぞ……

…俺のこと
触りたく
ねえの？



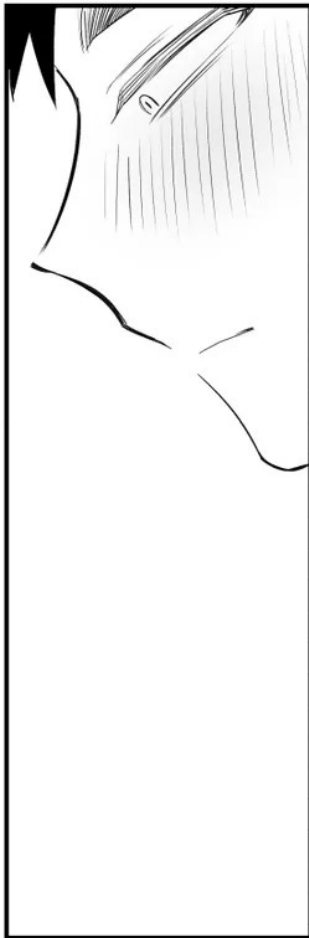
ちよ ちよつと
待ってくれ 春吾



こういう
ふわふわした空気
苦手なんだよ

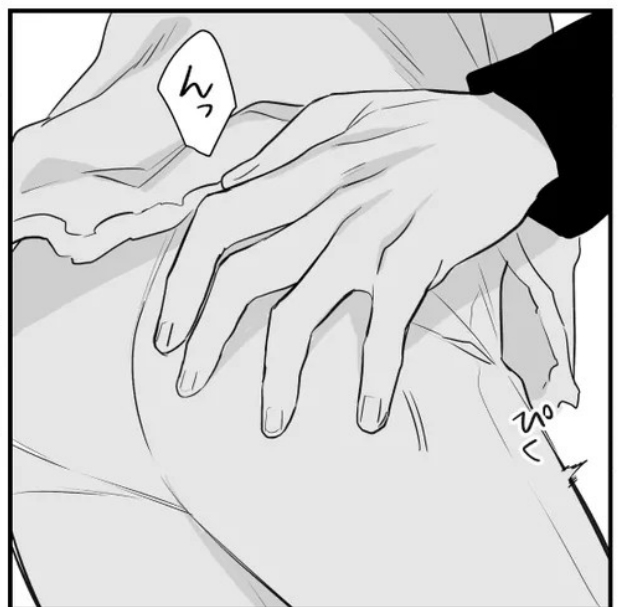


……



……なあ
いつもみたいに

…撫でて
くれねえの？





やらせろよ…
この間はそのまま
帰らせちゃったし



春吾！



おるるる…

？



…なんでもう
でかくしてんだよ



…気付いて
たのか

ずっと当たって
たからな

…
面目ない



あんなの
いれて欲しいって
思わねえ方が
ムリだっつうの



これちゃんときもちいか?



ウツツ
うおおお

両手使えば
なんとか



視覚情報が
すごい

口に入り
きらねえ
ちゃんと
できっかな...



ふはっ...
すぐいきそう



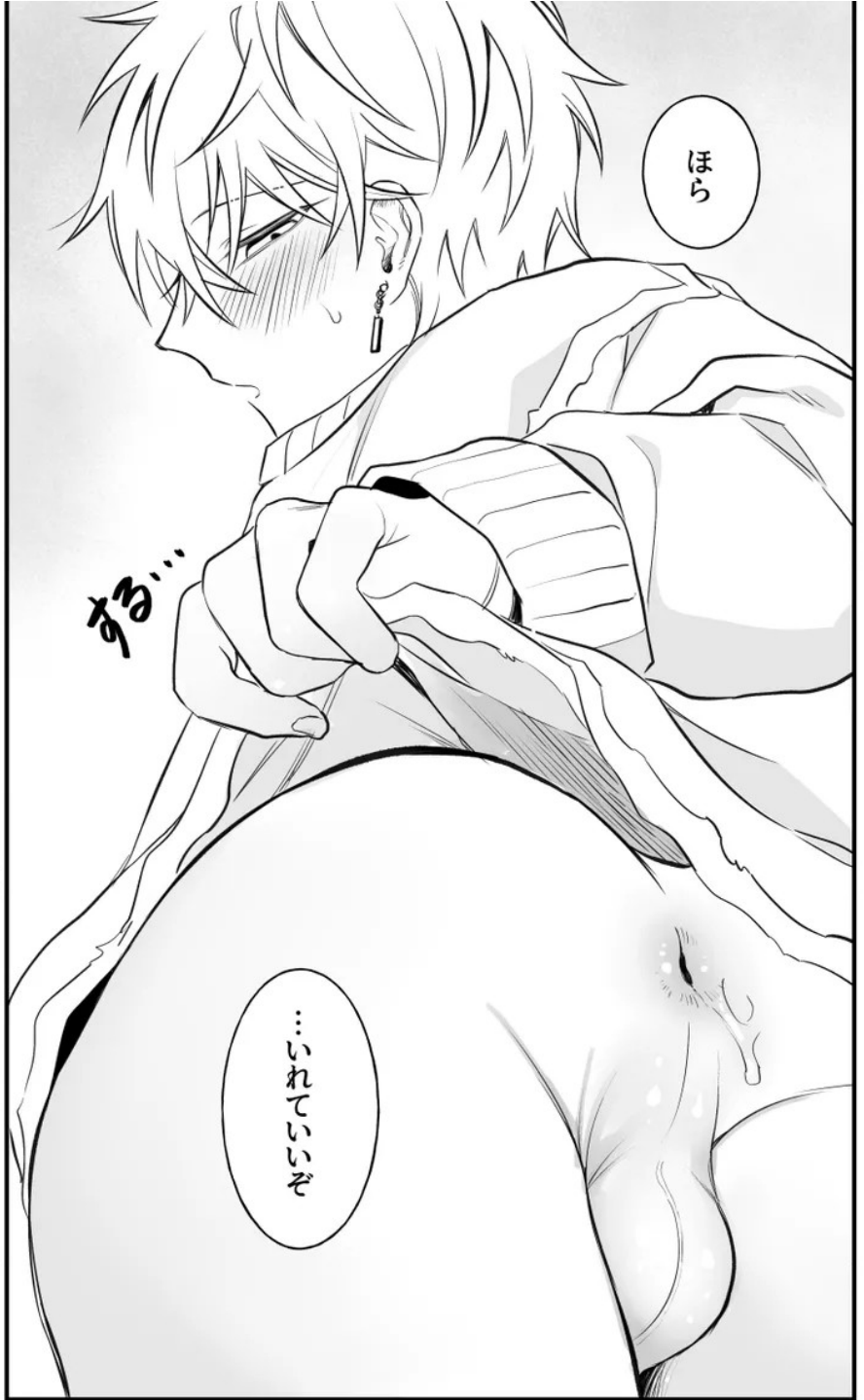
あゝ

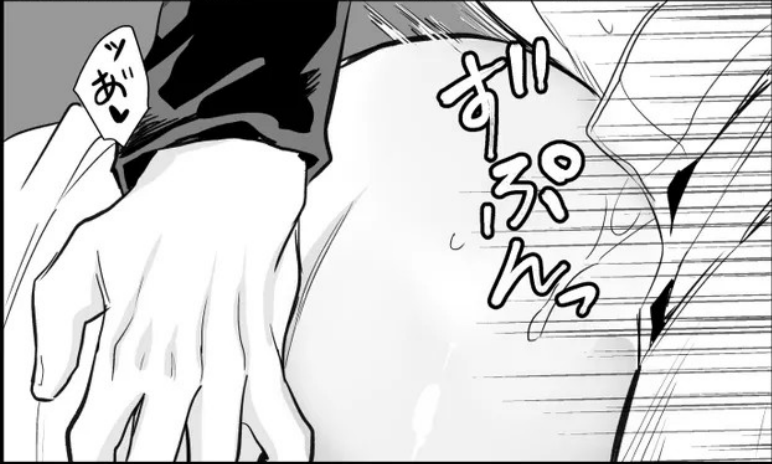


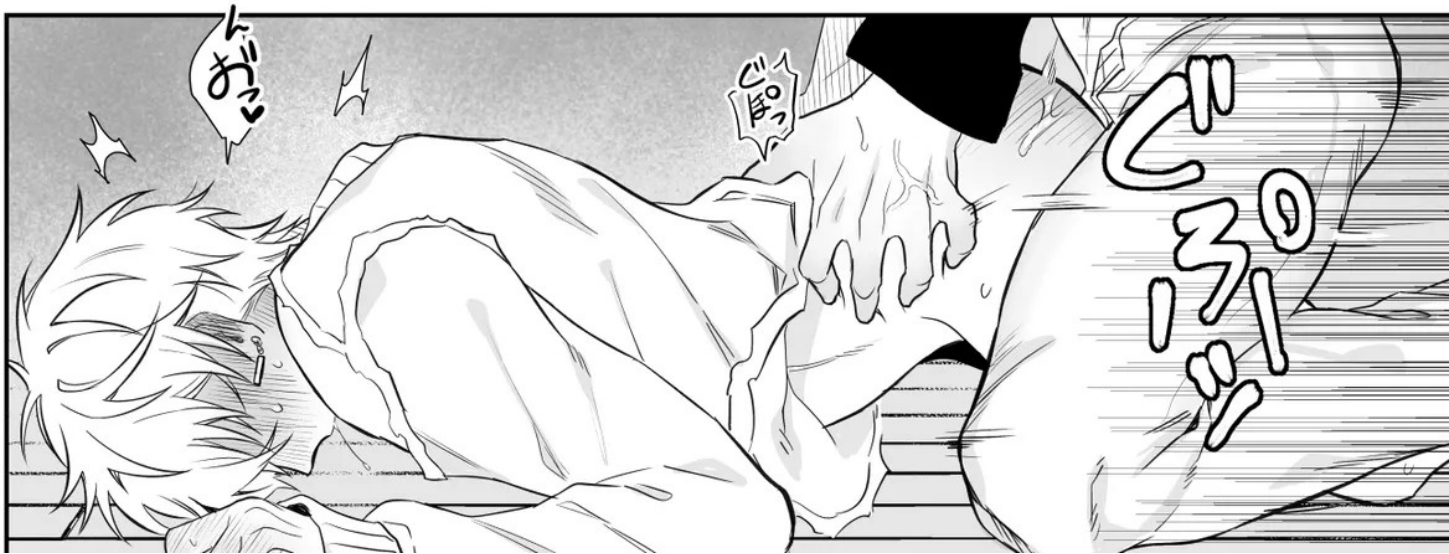
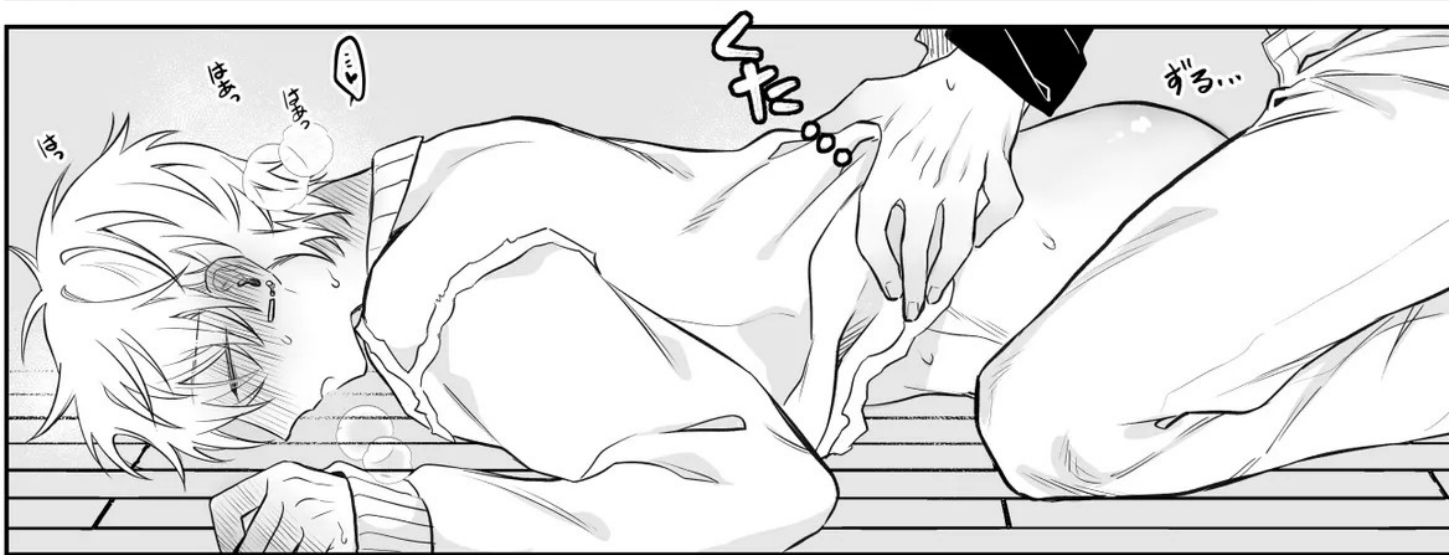
どど

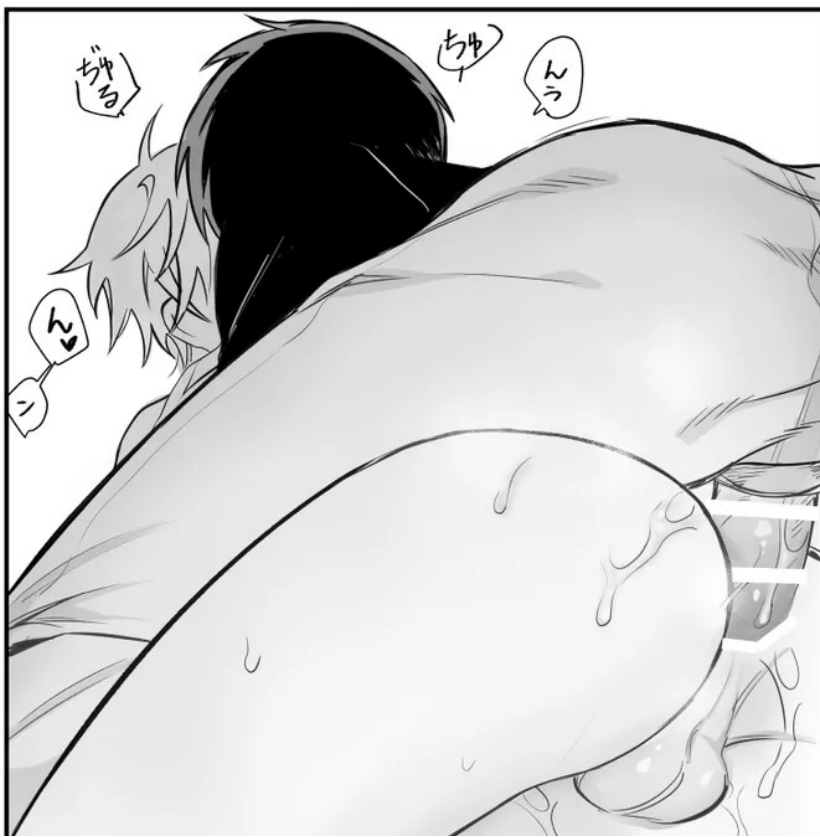
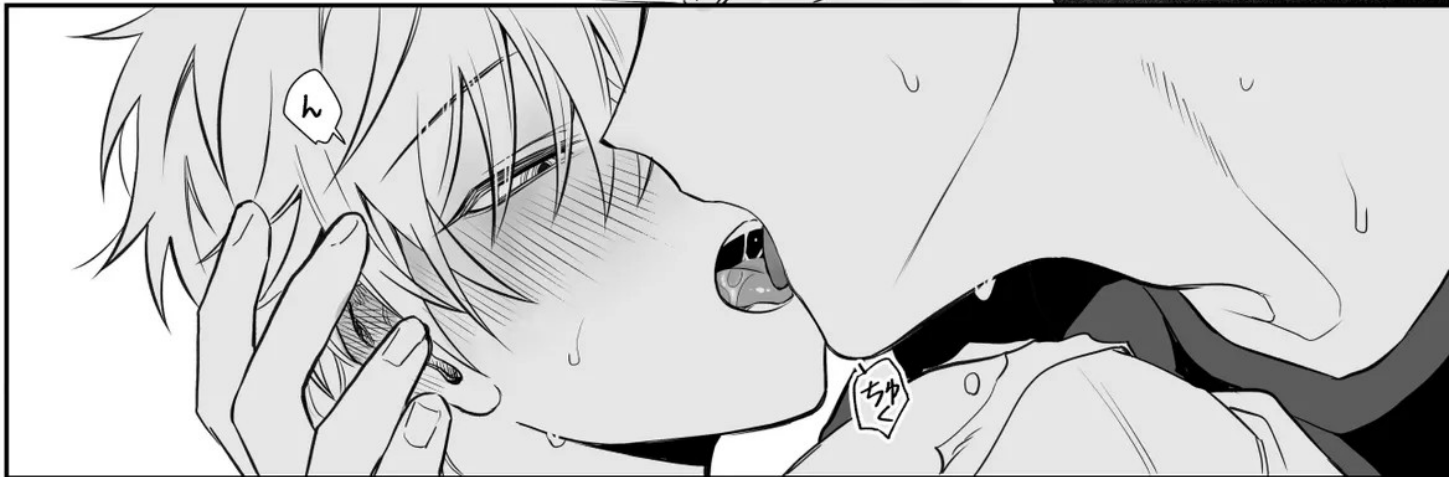




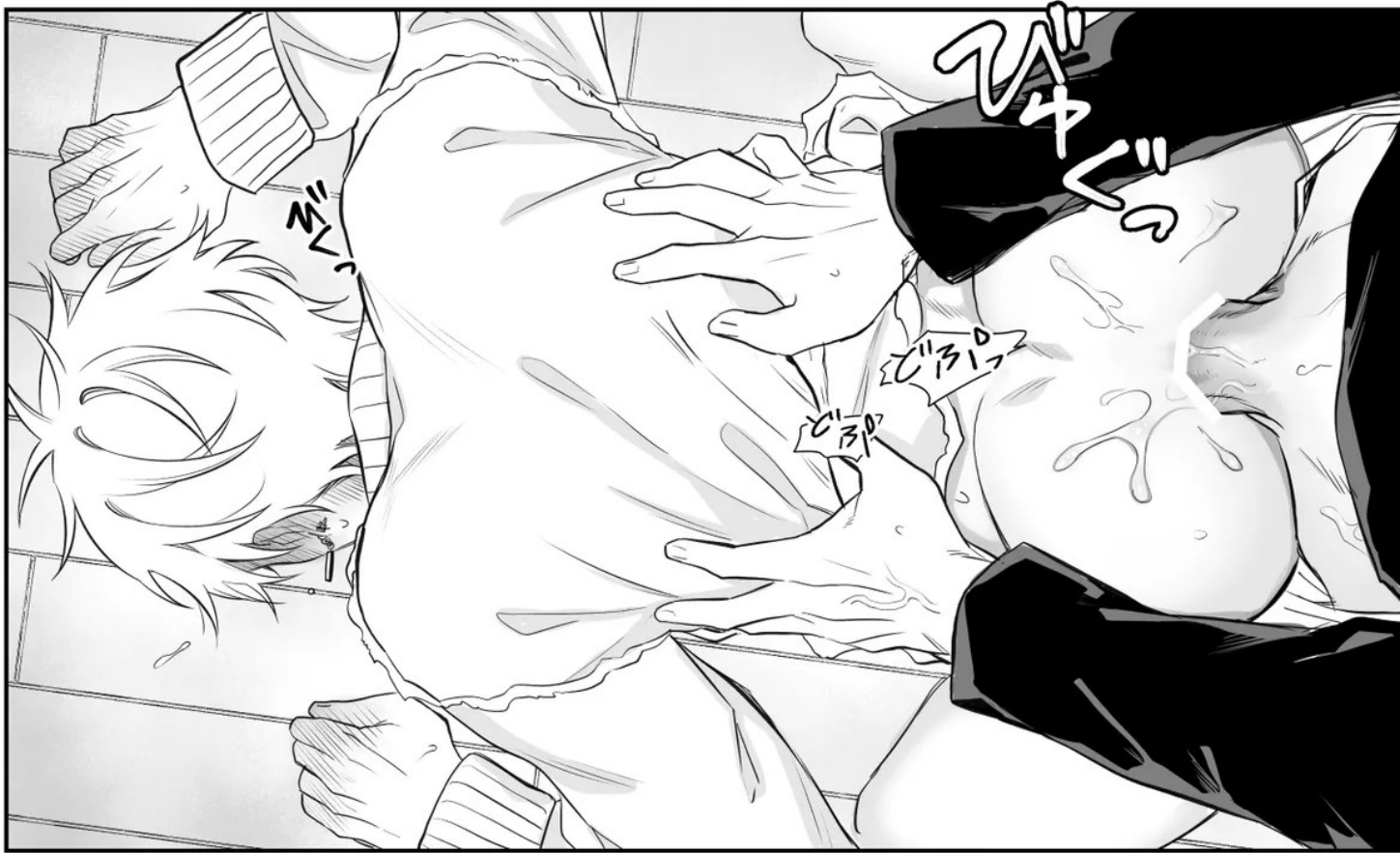


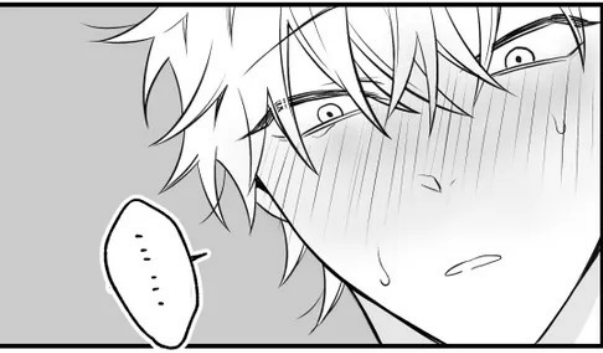










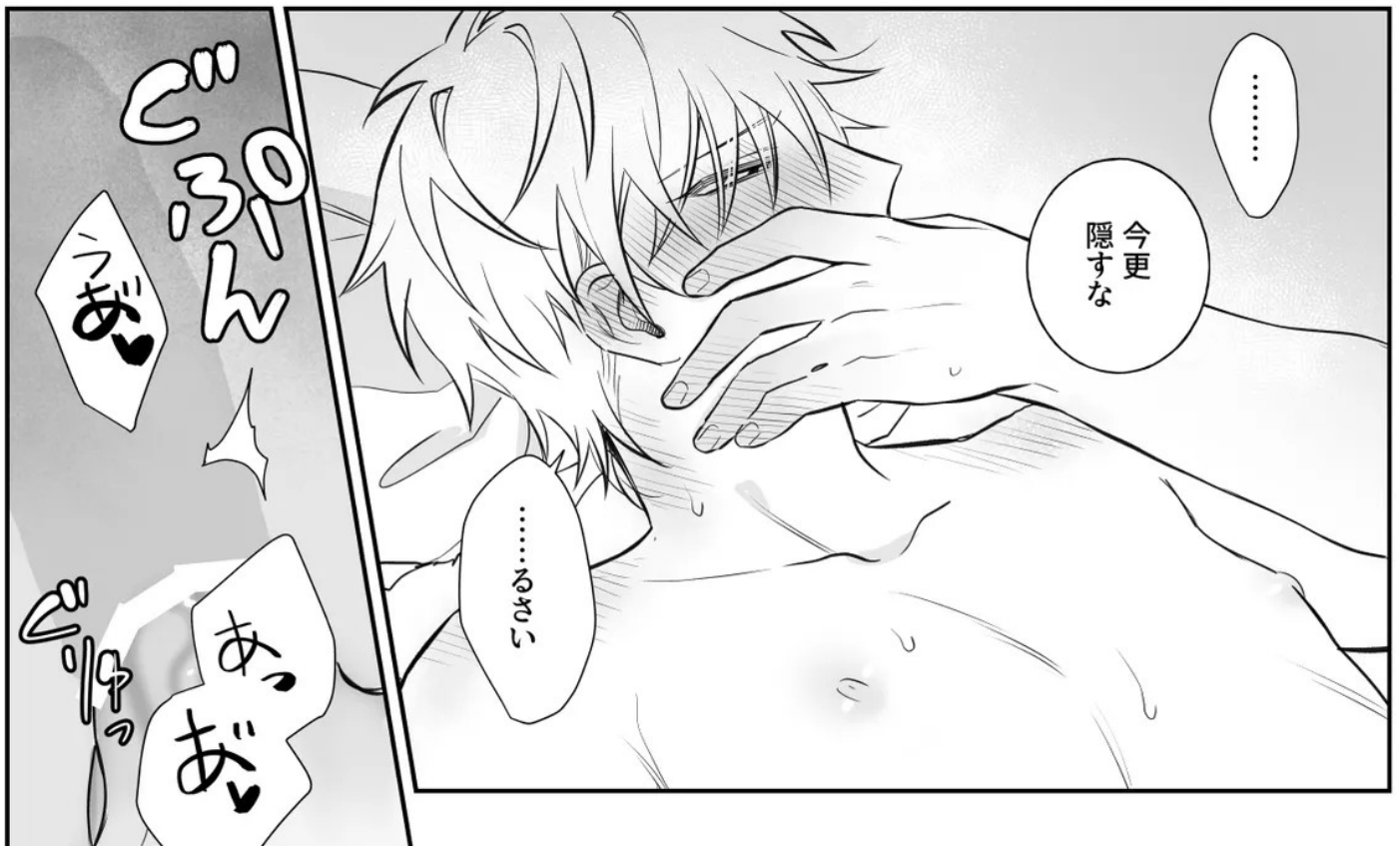


そんな表情かおされたら
言葉にしなくても
ちゃんと伝わる



……んだよそれ

自覚
無かったのか？



今更
隠すな

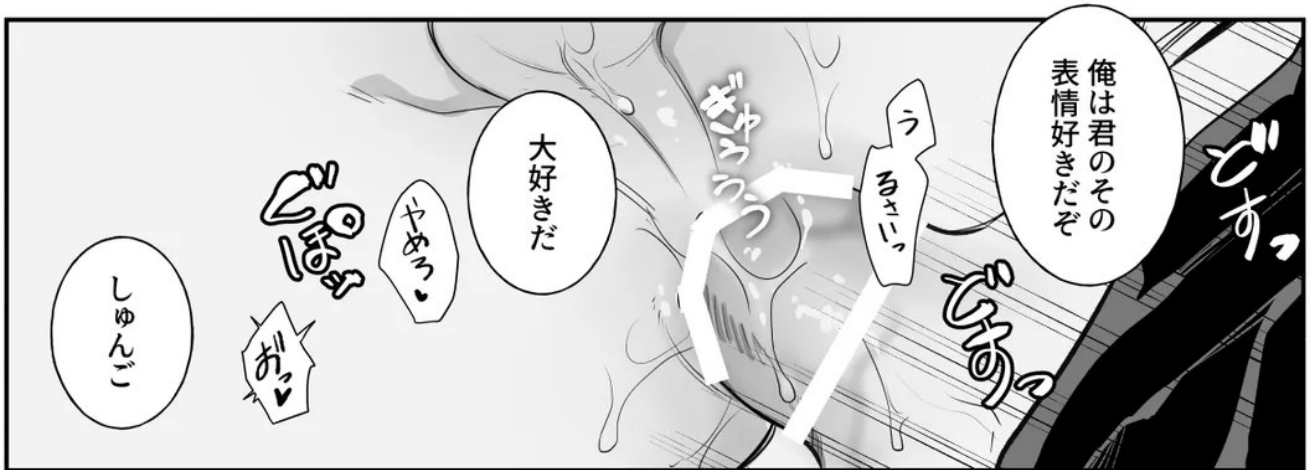
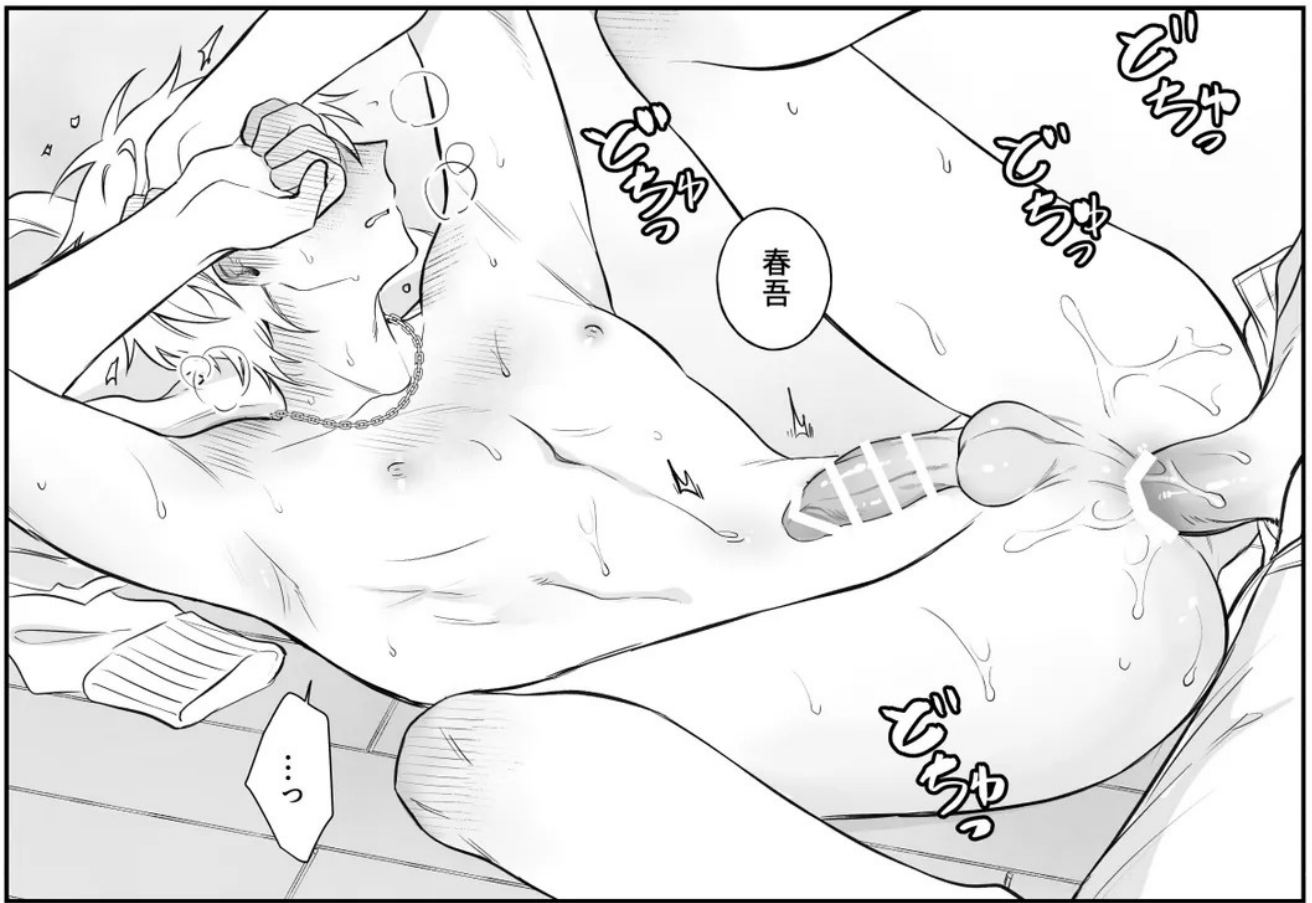
……んやこ

30
ん

んやこ

んやこ

んやこ









うん…
いよ

帰省は混雑
するからな…
年明け前に少し
顔を出しに行く
くらいにしよう
と思っていて



君さえ良ければ
なんだが…
どうだろうか



うう
うるせえな
悪いかよ

君がどんだん
素直になって
くれてうれしい

…なに
にやけてんだよ

素直なのは
良いことだ



この二人のお話はいくらでも描けるけれどゴールとしてはここかな、
ということでビッチ君のお話は今回で完結です。

表紙は今の二人がラブホに行ったらきっとこんな感じ…な気持ちで描きました。
やんわり一作目の対になっています。
二人とも以前よりばちばちにお互いを恋愛対象として意識しているし
始めの頃より相手の気持ちを伺うようになったので密度と緊張感が増してそう。

ここまで読んでいただきありがとうございました！



Twitter
@shiwo_____



Pixiv
68607873

ビッチ君は素直になりたい

発行日 2022.12.24

発行者 Demi/シヲ

連絡先 kekepc51@gmail.com